

令和3年度 第3回川西市子ども・若者未来会議 次第

令和4年3月29日(火) 17:00~19:00

場所：市役所4階会議室(Zoom併用)

1. 開会

2. 議事

(1) 協議事項

市立就学前教育保育施設のあり方について【資料1~4】

(2) 報告事項

民間留守家庭児童育成クラブ運営支援事業補助金交付に係る事業者の選定について
【資料5】

川西市立川西北こども園の開設について【資料番号なし】

(3) その他

3. 閉会

「市立就学前教育保育施設のあり方について(素案)」へのご意見等と教育委員会の考え方について

1. ご意見等の聴取について

市立就学前教育保育施設のあり方については、素案の公表前の段階から、子ども・若者未来会議などでご協議いただき、ご意見を頂戴してきたところです。また、素案がまとまりましてからは、素案を広く公表させていただくとともに、各方面からもご意見をいただいたところです。

この度、いただいたご意見を整理し、主だったご意見について、教育委員会の考え方をお示ししようとするものです。

2. 素案の説明等について

以下の皆様に対して、素案をご説明等させていただき、ご意見等を頂戴しました。

・市議会(厚生文教常任委員協議会)

・子ども・若者未来会議

・関係地区コミュニティ協議会

役員等に説明(4コミュニティ協議会)、資料送付(4コミュニティ協議会)

・保護者

市立各園所から保護者へ素案を配布、清和台幼稚園保護者説明会を開催

・職員

園所長に説明、園所職員説明会を開催、校長会議で説明、教頭会議で説明

*以上に加えて、市ホームページに素案を掲示するとともにご意見を募集しました。また、清和台幼稚園区にお住いの方で、令和5年4月に同園への入園を検討されている方の実態調査を実施しました。

3. 意見数

合計293件のご意見を頂戴いたしました。

内訳は以下のとおりです。

(1)市立就学前教育保育施設の役割や今後のあり方に関するご意見等 54件

(2)市立幼稚園全体としての今後のあり方に関するご意見等 19件

(3)事業推進に当たってのご意見等 63件

(4)「市立就学前教育保育施設のあり方について」策定に関するご意見等 23件

(5)具体的な事業に関するご意見等 106件

(6)その他のご意見等 28件

*ご意見の主だった内容により分類

4. 項目ごとのご意見の概要と教育委員会の考え方

以下、いただいたご意見について、項目ごとに「ご意見のポイント」と「教育委員会の考え方」を示します。

(1) 市立就学前教育保育施設の役割や今後のあり方に関するご意見等について

(* 資料2 1~4 ページ)

ご意見のポイント

経済的に厳しいご家庭や特別な支援が必要な子どもの受け入れについて、セーフティネットとしての役割が市立就学前教育保育施設にはあると考える。このため、市立就学前教育保育施設のバランスの取れた配置が必要ではないか。

私立就学前教育保育施設と競合関係にある部分もあるが、協力関係も重要。

教育委員会の考え方

就学前教育保育については、市立施設と私立施設が相互に協力し、補完しあいながら推進していくことを基本に考えております。

ご家庭の経済状況や障がいの有無にかかわらず、希望する施設をご利用いただける環境を整備することが重要であると考えておりますので、令和4年度からは、私立幼稚園等が特別な支援を必要とする児童を受け入れるにあたって、職員の加配に必要な費用を補助する制度を創設いたします。なお、私立就学前教育保育施設においても、特別な支援を要する子どもへの教育保育について、熱心に取り組まれている園も多く、一概に私立施設において受け入れが進んでいないという認識はありません。ただし、加配職員に関する費用について、十分に措置されている状況ではないため、補助制度を創設しようとするものです。

また、市立、私立の就学前教育保育施設において医療的ケア児の受け入れ体制を整えるほか、教育委員会に障がい児の福祉サービスに関する事務を移管するとともに特別支援教育との連携を強化するなど、インクルーシブな就学前教育保育の実現に努めていきます。

所得が低い方への支援につきましては、従来から実施しております補足給付の実施状況を踏まえつつ、私立就学前教育保育施設と連携を図りながら、支援施策のあり方について、検討を進めていきたいと考えています。

(2) 市立幼稚園全体としての今後のあり方に関するご意見等について

(* 資料2 4~5 ページ)

ご意見のポイント

市立幼稚園の入園児童数が減少しているのは、保護者のニーズに沿った教育保育を実

施してこなかったことが要因の一つである。3歳児保育や給食の実施、預かり保育の拡大、通園バスなどの手立てを実施していれば、園児数の減少を回避できたはずである。

また、遊びを中心とした市立幼稚園の保育を、希望する方に提供できるようにする必要があるのではないか。

清和台幼稚園が廃園となった場合の園区の設定についてどうするのか。

教育委員会の考え方

幼児教育保育の無償化等により、保護者のニーズがより長時間、長期間の保育にシフトしていることは認識いたしておりますが、1号認定児童の定員数とその需要をかなり上回っており、市全体としては余剰となっております。

今後、さらに就学前の子どもの人数が減少していく見込みの中、新たな事業として市立幼稚園において、3歳児保育などに取り組むことは困難であると考えています。

一方では、市立幼稚園での教育保育につきましては、可能な園につきましてはこども園化を進めることで、その継承発展に取り組み、地域の私立施設とも共有を図るなど、市全体としての教育保育の質の向上に取り組んでいきたいと考えています。

清和台幼稚園が廃園となった場合の園区設定については、同園の園区を引き継ぐ園を具体的に設定せず、清和台幼稚園の園区の児童が他の市立幼稚園、こども園への入園を希望する場合、当該園の園区に在籍する児童と同様の扱いとする方向で検討しています。(別途ご協議をお願いします)

(3) 事業推進に当たってのご意見等について

(* 資料2 5~9ページ)

ご意見のポイント

認定こども園の定員の設定や拠点化については、様々な状況を考慮し、適切に対応願いたい。

また、集団教育の望ましい人数の設定と東谷幼稚園の廃園の基準との乖離をどう考えるのか。

職員の配置については、必要な職員数を確保することはもちろん、より充実するよう取り組んでほしい。

廃園後の跡地の活用について、子どものための利用なども含めて検討してほしい。

地域と良好な関係を保ちつつ、子育て支援施策の充実を図り、市の魅力向上を進めてほしい。

教育委員会の考え方

市立認定こども園については、地域における就学前教育保育の質の向上などに関する拠点施設となるよう検討を進めていきます。また、新たに開設するこども園の定員につ

いては、今後、適切な人数となるよう検討します。

東谷幼稚園の廃園を検討する5人については、集団を形成するために最小の人数を考慮したもので、この人数を下回るようならば、廃園を検討することとしています。

職員配置基準の拡充については、市立施設では一部、国基準を上回る配置をしておりますが、さらなる拡充については、現在のところ具体的な実施予定はありません。

跡地の利用につきましては、全市的な課題として取り組みを進めて参ります。

地域の就学前教育保育施設として、私立園とも連携を図りながら、地域の子育て支援の充実に取り組んでまいりたいと考えております。また、子育て支援施策につきましては、令和4年度の(仮称)子ども・若者未来計画策定の過程で、その充実にについて検討を進めて参りたいと考えております。

(4)「市立就学前教育保育施設のあり方について」策定に関するご意見等について

(* 資料2 9~10 ページ)

ご意見のポイント

計画の策定にあたっては、市が勝手に決めるのではなく、関係者の方々に丁寧に説明をし、意見を聞きながら進めてほしい。

教育委員会の考え方

計画の策定にあたっては、事前に子ども・若者未来会議などからご意見を伺い、素案を策定いたしました。また、素案については新型コロナウイルスの感染拡大の局面でしたので、大規模な説明会はできませんでしたが、保護者の方々、地域コミュニティ組織の役員の方などへの説明をさせていただくほか、市ホームページにアップロードいたしました。

今後も、丁寧な説明を心がけ、ご理解をいただきながら計画を推進していきたいと考えています。

(5) 具体的な事業に関するご意見等について

(* 資料2 10~15 ページ)

ご意見のポイント

- ・ 久代幼稚園と南保育所のこども園化について
土砂災害警戒区域に指定されていることについて
建物の老朽化について
現場職員と協議をしながら進めることについて
給食施設の拡充や保育室の配置について
- ・ 多田幼稚園と多田保育所のこども園化について

こども園の場所について

多田幼稚園が5人未満となった場合の取り扱いについて

- ・東谷幼稚園廃園を検討する5人という基準について
- ・清和台幼稚園の廃園について

令和4年度の職員の配置について

転園が必要となる児童や入園を検討していた児童への支援について

教育委員会の考え方

- ・久代幼稚園と南保育所のこども園化について

川西南保育所の建物の一部が土砂災害警戒区域内で、久代幼稚園の園舎は同区域ではありません。この辺も考慮し、具体的な利用計画を今後、検討していきます。

建物が老朽化していることは承知しておりますので、老朽化対策についても検討を進めていきます。

現場職員と連絡、調整を進めながら事業を推進していきたいと考えています。

給食施設の拡充や保育室の配置については、具体化を検討する過程で必要性や妥当性を見極め、対策を講じていきたいと考えています。

- ・多田幼稚園と多田保育所のこども園化について

施設の場所については、今後、検討を進めていきたいと考えています。

こども園開設までに多田幼稚園の児童が5人未満となった場合の対応については、休園なども含め、検討します。

- ・東谷幼稚園廃園を検討する5人という基準について

東谷幼稚園の廃園を検討する5人については、集団を形成するために最小の人数を考慮したもので、この人数を下回るようならば、廃園を検討することとしています。

- ・清和台幼稚園の廃園について

職員の配置については、ご意見も参考にさせていただきながら、必要な職員を配置するよう努めていきます。

転園先等に関する支援については、ご希望をお伺いしたうえで、あっせん調整などに努めていきます。

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
1. 市立就学前教育保育施設の役割や今後のあり方に関するご意見等について	
1	幼稚園は廃園で、北部に公立の就学前施設がなくなる。川西市として就学前教育保育を大切にと言っているのに、その思いは実現できるのか？子どもが少なくても、公立施設の保育が好きだというニーズもある。
2	今後入園希望のお子さんの数を見込めない状況の中、そのままの形での存続は困難かと感じております一方で、公立の施設は「誰もとりこぼさずに受け入れる」という使命を果たしてきたものと思われ、その点について廃園による弊害はないのか、こぼれ落ちるお子さんへ寄り添う手立てはあるのかを精査した上で、今後について検討する必要はあると感じています。
3	市立幼稚園を選択しなかった理由としては、・3年保育ではない。・親の労力とニーズにあっていない。（登園ルールの制限、車や自転車の送り迎えの制限。給食がなく、お弁当を持参しなければならない。）・延長がないこと、また延長が基本形態ではなく、申請するシステムであったり、抽選があったりするため、パートなどの仕事が出来ない。（最近では共働きのご家庭が多い。市立では延長のシステムも最近導入されている様子だが基本は時間が短いため、仕事などの時間を取ることができない。）・役員の負担がある。（役員の負担はコロナになり減少しているが、バザーや運動会など、園に一日拘束されることもあり、役員の負担は大きい。）・他の私立の園に魅力的な習い事や遊びがある。（遊びながら英語・美術・音楽・スポーツ・学習にふれる機会が私立ならではあることがある。）
4	市立幼稚園を選択するメリットとしては、・幼稚園からのお友達と小学校にそのまま一緒に行くことができる。・発達障害などの園児への対応がよく、加配の先生がきちんとつく・自由にのびのびとすごせる。・保護者が園とのつながりが深く色々と相談しやすい（これは個人の意見ではなく、市立と私立を体験し、強く感じたところです。）
5	市立の幼稚園に行ってもらって本当によかったなあ・と感じています。そこで出来た友人たちは今でも親友で、遊びのなかでたくさんを感じ、たくさんを学んでかえってきました。また私自身はじめての子育ての中で市立の先生にはたくさんたくさん、支えていただいたと感じています。本当ならば、きょうだいも市立の幼稚園にという気持ちがありましたが、仕事や子育てを考えた時に3年保育を選択しました。
6	幼稚園という形なのか、認定こども園という形になるのか検討はし、市立施設は残してほしい。
7	普遍的な役割と不変的な役割が公立の持ち続ける姿勢だろうと思います。ただ何かを考える時にそこをきちんと踏まえていかないといけない。
8	P7その他 経済的に厳しい家庭や支援が必要な児童に対して公立施設としての拠点が必要と考える。
9	コロナ禍における公立保育所、幼稚園での役割は大きい。この役割を評価し、政策に反映させるべきと考える。
10	公立が中心となって、私立の就学前施設とも連携を図り、川西市全体の就学前施設の教育保育の充実化を図る。伊丹市の幼児教育センターのように、川西市の就学前施設（公私共）を統括していけるようなところを設置
11	引き続き地域と子どもたちをつなげる役割になっていければと思うが新型コロナウイルスが感染拡大しているのかまだ難しいところもあると考える。
12	少子化により難しい面もあると思うが、市立就学前教育保育施設は地域に1カ所はありと地域も有難いという声がある。
13	公立幼稚園をあえて選んでいる人も一定いるので、受け皿としての役割がある。一方で私立に流れてしまう地域で公立を残す必要があるのか。
14	支援の必要な子どもにとっては、全く違った地域の園から小学校へ行くことはしんどさがある。ある程度の友達とのつながりがあることが望ましいので、校区や園区の区切りはあった方が良くと思う。そうすると私立のみではなく、公立園所が各校区の一つあることが望ましいのではないかと。

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
15	多田保育所以北の公立施設をどうするか。多田保育所と、牧の台みどりこども園だけで本当にいいのか。義務教育はほぼ公教育なのに、就学前教育・保育を民間任せにしてよいのか。
16	公立就学前教育保育施設の果たす役割の重要性や必要性のPRを行う。
17	公立の保育所がやっておられるノウハウをどこかが継承していくことが必要
18	私も子どもが公立幼稚園に通っていたんですけども、その時小学校に上がる際に8割から9割くらいが同じ園から上がるということで、新たにコミュニティを築かなくていいという保護者的なメリットはありました。
19	公立、私立の双方にメリット、デメリットがあると思います。市立園に通われている方が少なくなっていることと2年保育であることが市立を選ばなかった理由です。ただ園でやっていることとか自由度みたいところは、公立はすごく楽しそうで、子どもは卒園していたので、本当は3年保育で園自体が少しお迎えがお仕事できる程度に長ければ公立にいられたかったなというのが私の気持ちであります。
20	公立の役割はある意味パイロット的な役割がある。
21	公が担うべきところは教育的役割、福祉的役割、施設間連携というご回答があったが、これをきちんと担える形で施設整備を考える。
22	小学校・中学校との連携を図り、なめらかな接続ができるようにする。研究や研修を一緒に進めていく。子ども同士、職員同士の交流を進めていく
23	普段から保健師や栄養士の巡回があり、公の部分でのつながりもちやすいという特性を生かしていける場として。
24	抜本的に公立就学前施設の地域再編。例 ・縦に長い川西市を4～5に分けて拠点となる公立こども園を作る。 ・3号の待機の多い地域には、既存の保育所を残し「子育て支援の拠点」や0・1・2歳児の保育所とするなど。
25	教育保育の保障をする。（公開保育・教育活動の提言・施設の提供・公共性）
26	地域との連携の中心的役割（保幼こ小連携・地域の家庭・自治体・教育機関）をもつ。
27	市立保育所として長年培ってきた専門的な知識・経験をいかし、保護者や乳幼児をセーフティーネットとなって支援する。
28	公立施設が就学前の保育・教育、子育て支援の地域の拠点となる。保育所は、保育・教育の専門性を高め深めるための研修を継続して受ける事や、幼稚園は乳児（0～2歳児）の保育を学び、支援につながるような研修が必要と考える。
29	地域の子育て拠点として発信できる、頼れる施設になる。
30	多様なニーズに対応していける知識と環境整備をし、地域に根差した存在が求められる場。
31	支援の必要な児童、父兄が就労できないということへの配慮は？
32	公立幼稚園の件ですが、園児数は確かに少ないですが、私立園からはじかれたお子さんもいます。入園を断られた親御さんはどんな気持ちでしょう。育てにくい子、育ちにくい子の最後の受け皿になっていることも事実です。園児数は少ないですが、手厚い幼児教育を行っているのが公立園だと思います。行きたい幼稚園に行けるように、置き去りにされないように、市としての対応をお願い致します。
33	清和台幼稚園が廃園となるが、医療ケア児や重度障害児は私立幼稚園では設備や加配の問題で受け入れが厳しいため、質の高い市立施設で受け入れるべきと考えているが、この資料では見えにくい。福祉、教育部門が連携して障害のある子どもの状況を把握することが必要である。
34	加配を要することもであることから、公立園に入園させたい。

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
35	特別支援教育をより深く学ぶ機会を設け、受け入れ体制を整える。（人員の配置を含む）
36	特別支援教育についての専門性を高めるための研修の機会や専門機関との交流の機会を設け、園で支援児を受けていくための仕組みの確立。
37	特別支援の充実等、公立だからこそその支援内容を進めていく。
38	支援が必要な児童や途中入園について私立幼稚園からは入園を断られているのが現状であり、私立幼稚園には何も伝わっていない。支援児への補助とは何を補助するのか？私立を退園して公立に行くことになった家庭もある。支援児にとって私立幼稚園に入園させることが望ましい環境なのか。（清和台幼稚園の廃園に関して）
39	発達に心配がある子も含めて、2年保育でも子ども達を受け入れてくれる幼稚園を確保してほしい。
40	私立の幼稚園には加配職員がつくことがほばないため、通わせることが心配だという声をよく聞きます。現在市立幼稚園の方は、実際どのような状況になっているのかということと、加配がついていないような状況であれば施策的に何か考えていただけるのか
41	福祉の面から見て、育ちづらい子どもの受け皿という点を市が考慮し、加配に必要な先生は市が負担するくらいの心持ちで、私立の園に派遣するくらいの心持ちで統廃合をもう少しお考えいただけたらと思っています。
42	子ども3人に1人という形の加配の先生をつけてもらっています。例えば3歳の子を一人、5歳の子一人となった時に3対1になるので、年齢の差もありますし見きれないので加配の先生を二人配置すると一人は園負担という形になってしまうんです。
43	加配の問題ですとか財源が関わってきますので、公立と選べないという状況を生むのであればその財源の確保みたいなのは必要なかと思いました。
44	川西さくら園園児のことですが、今は年中か年長で、川西市立幼稚園やこども園に行く、というケースが多いのですが、年中・年長だと定員がいっぱいで入れないと言われたことがあります。身辺自立や集団で動く事の基礎ができていない状態で幼稚園等に入園すると、加配に1対1が必要となるような状態になってしまうことがあります。そこで、川西さくら園としては、ある程度基礎ができるようになってから、幼稚園等をすすめています。年中・年長で市立幼稚園等に入れなくなるのなら、療育は必要ではあるももの、入れなくなったら困るため、年少からこども園へ行くという選択になってしまうことがあります。年中・年長でも入れる枠の確保をお願いいたします。
45	様々な困難を抱える子どもも、平等に保育を受けられる環境として。
46	入園金や制服代などもこども園とかでは高すぎます。
47	2年保育でも子ども達を受け入れてくれる幼稚園の確保（発達に心配がある子も含む）。入園金、制服、バス代などの支援。今現在、幼稚園に行かせることができるのか不安な日々を過ごしているのでお願い致します。
48	私立幼稚園を優先させる理由は？市立と私立で競争させるべきだと考える。
49	私立は経営的な視点を考慮する必要があるなので、不採算となる保育は実施できない。市立と私立を競合させることで、よりよい保育が実施できる。
50	私立幼稚園の教育方針より、公立幼稚園での遊びを中心とした教育の方が、自分の子には合っていることから、現時点で私立に入園させることは考えていない。

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
51	私立の園はルールなどが市立よりあり、とてもきちんとされていると感じます。このため、小学校にあがったときに小学校のルールに戸惑うことはそこまでありませんでした。しかし正直な気持ちをいうと、きちんとする厳しさも必要ですが、子どもには安全にのびのびと自由に自己肯定感をしっかりと育ててほしい！！という気持ちが私の中には実はあります。
52	清和台、東谷幼稚園の廃園について、私立施設との関係性の考え方は。
53	私立の保育について、公立のやり方を取り入れながら、また公立も私立やり方を学んでいながら共有して進めていくということがすごく大事だなと思うんです。
54	民間施設等のつなぎ役となり保育の質を向上する。
2. 市立幼稚園全体としての今後のあり方に関するご意見等について	
55	市立幼稚園について子どもが極端に減り、地域で今後も子どもの増加が見通せない場合は確かに廃園も致し方ないのかもしれませんが、もっとそこを見通して事前に、今回のような案を立てるべきだったのではないのでしょうか。もし廃園になったらその地域の少なくとも公立の教育・保育を受けたい子はどのようにするのか。園区の問題はどうするのか。通う方法はどのようにするのか。先に案を示すべきだったと思います。その反面、かなりの少数の子どもにかかる人件費で考えると・・・。
56	市立幼稚園について両親ともにお仕事をされる方が増えてきているので預かり保育が不十分であることや2年保育であるということがデメリットになっているような気はしています。
57	この計画が進めば、緑台に続いて清和台、東谷もなくなっていく。公立施設で働く職員は比較的勤務年数が長く、経験もあり知識が豊富であり、地元の子が多く入園している。小学校、地域との連携も図りやすい。保護者から市立幼稚園へのニーズとしては、3歳児保育、給食があり、これまでのニーズにこたえてこなかったことが入園児の減少になったと考える。
58	公立幼稚園の空き教室を使つてのサークル活動や一時預かり保育
59	市立幼稚園は閉園：市立幼稚園においては令和4年度の募集状況からもわかるように、今後園児の増加は難しいと考える。10年ほど前から協議されてきたこともあり、閉園をしてもよいのではと思うが、地域住民には市立幼稚園の大事にしてきた保育内容を期待し、愛着を感じておられる方もいる中で、どのように閉園をしていくのか段階的な方法が必要と感じる。中には入園を希望している方もおられるので、具体的な見通しを示す必要がある。
60	市立幼稚園の園児数を見ると、現状では今後も、園児数を確保することは難しいと思います。地域の園児数等に照らして公立幼稚園を閉鎖し、民間園所と共に川西市の幼児教育・保育を担っていく方向に進む方がよいのではないかと考えています。
61	市立幼稚園は地域、保護者のニーズとずれている（3年保育を実施していない）
62	保護者のニーズにこたえていく必要がある。（給食・バス・3年保育など）
63	在園児が減少し、今後公立幼稚園施設をどのように活用するか。地域子育て支援施設としてプレイルーム、園庭開放など支援員在籍のもと取り組む。遊具などがそのまま使える。（公立保育所のものより新しく専門家に点検してもらっている遊具なので安全） 集団としての子どもの育ち、個々の子どもの育ち含め、教育時間を見直し地域の求める公立幼稚園を探る。
64	市立幼稚園が全てなくなるのは寂しさを感じる。

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
65	川西市が子育てしやすい街と市民に思ってもらわないといけない、と考える。川西市として就学前の教育・保育を考えていくときに、地域によって差が大きくなっているのではないかと。保育所・こども園・幼稚園の分布を考えるとかなりの地域差が今もある中で、このまま、何の対策もせずに公立幼稚園をなくしてもよいのか…。
66	こども園の1号の状況を鑑みて、幼稚園の存在の在り方、施設の活用（預かり保育など）を考えるべきと思う。
67	市立幼稚園でなぜ3歳児保育をしなかったのか？
68	3年保育を求める人が多いと感じる。
69	市立の幼稚園を選択しなかった理由の3歳児保育、預かり保育の問題が解消されれば、登園するなら、市立の園が一番近いから行かせたいという方はおられると思います。ただ、それが解消されなければ、園児減少傾向は変わらないと思います。
70	公立園は、現場のニーズに対応できていたのか。もっと早く3年保育あるいは2歳児も視野に入れて展開しておられたらどうだったのだろうかと思います。今後公立の園が少なくなっていく中で行政としては現場のニーズに対応できているのかどうなのかというあたりはしっかりと見ていただきたいというふうに思います。
71	園区のお考え方はどうするのか
72	園区のお考え方は今後どうなるのか。
73	園区をどう考えるのか。例 1号の園区を撤廃するあるいは 園区を広げる。そのために公共交通機関を使う人に少しでも交通費の補助をする。 保育所をこども園化する。そして1号の入園希望を受ける（老朽化した保育園の補修・大規模改修を含む）。
3．事業推進に当たってのご意見等について	
74	定員について、数字合わせではだめで、地域性（場所）ということが大事
75	こども園にしたから子どもが集まるという考えは甘いのではないかと？
76	整備するこども園は、「公設公営」か。
77	多田幼稚園の一体化と南の一体化の拠点化の違いはなにか。
78	多田幼稚園と東谷幼稚園の状況はほぼ変わらない。仮に、多田幼稚園の入園者数が5名を下回っても、幼稚園を継続し、こども園化を進めるのか。
79	東谷幼稚園が5名を切れれば廃園にかじを切るのに対して、次年度5人の新入園児しかいない多田幼稚園はこども園になるまで幼稚園を維持する…。これが市民の理解を得られるのでしょうか…。
80	今後こども園に対しては1号の定員を減にすると書いてありましたが、2号3号は職員をしっかりと配置して定員増にするべきだと思います。現時点でも2号の子どもは新年度ほとんど希望があっても入れていない状況です。入れるのはほとんどが小規模からの転入のみ。だから、1号で入りすぐ新2号になって夕方まで預かってほしい。という人も増えています。川西市では働く保護者を支援できる、子育てを支援できるそんな施設が必要なのだと思います。
81	久代幼稚園は令和4年度では4歳・5歳で21人の見込みで一定の集団規模はあるが、将来的な子どもの減少を踏まえ、こども園化していくのか？
82	市立こども園は送迎が必要なのであきらめた。
83	こども園の仕組みの複雑さの解消が必要ではないかと思う。

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
84	川西北こども園なのですが1号が100名、2・3号が80名となっているんですけども、ところが1号の在籍数が年々減少してこの令和3年度は36名なのですが、これで100名の定員設定、トータル180の定員設定というのは妥当なんでしょうか。北こども園の定員と実数が乖離しすぎているんじゃないかを感じていて、この辺は再検討される方がいいんじゃないかと思います。
85	就学前教育保育に関する質の向上に関する地域の拠点となる施設とするということで認定こども園をお考えようなのでここに期待したいなと思う
86	こども園は制服はあるのか。昔は制服スタイルがいいとかということもあったが。
87	「民間を圧迫しないように」と給食や3歳児保育、通園・送迎バス等を取り入れてこなかったのに、「集まらないから」と統合してしまうのはいかがなものか。
88	加茂こども園の230名定員は多すぎる。現場と役所で、振り返る時間はあったのか。
89	幼稚園や保育園では、たくさんのお友達と触れ合えるというのは魅力の一つである。
90	P3集団教育についての囲いの中に、「1クラス当たり21人から30人程度が望ましい」と記載があるが、上の表を見ると望ましい人数になっていない。あえてここに記載した理由や、もう少し少数が良いという考えはないか。
91	P3集団教育についてに記載のあるように、集団教育の観点では早急に対応が必要と思う。
92	P3集団教育 「1クラス」とは同年齢のことか。
93	幼稚園教育要領解説の抜粋の部分に、「幼稚園において同年齢や異年齢の幼児同士が相互に関わり合い生活することの意義は大きい」と記載されていて、同年齢の児童を集める根拠が見当たらないが、この点についていかがか。国では1クラス当たりの上限はあるが下限はない。
94	「1クラスあたり21人から30人程度が望ましい」という記載と、東谷幼稚園では「児童数が5人以上となった場合は園の運営を継続する」という記載があるが、この違いは何か。
95	集団教育の望ましい環境と効果を実証するものはあるのか。
96	市立幼稚園が一定規模の集団を形成されていないことが原因で、こどもの教育環境を悪くするものなのか、そこに通っているこどもが将来、何らかの問題を抱えることになるのか。教育効果以外に地域と関わりをもつことで機能を果たしていく可能性も考えられるが、市として調査などされているのか。
97	明確な根拠がなく、一定規模に達しないことをもとに一体化や廃園を行うことは拙速であり、重大な結果を生むのではないかと危惧している。
98	市立保育所の継続に対しては定員を守っていくのには賛成ですが、今後も必要な改修を重ねて、職員配置の見直しもしてほしいと思います。
99	こども園になったとき、今の保育士体制で0歳児と4歳児が一緒になって余裕がないなかで丁寧な保育ができるのか。スタッフ体制を考えてほしい。
100	同じ教育委員会のもとで、幼稚園の職員配置とこども園（例：清和台幼稚園は子ども10人に対し園長、担任、副担任、加配、用務員が配置される）保育所の職員配置（市立保育所・こども園は長時間保育、長期休みもない中、0歳児3対1 1歳児5対1 2歳児6対1 （保育所・こども園は未満児はぎりぎりの定員配置で未満児フリーという制度もありません）について、これを不公平とと思っているのは一人や二人ではないはずです。

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
101	全国的に職員不足の中、大変なことは重々わかっていますが、川西市で働きたい職員を増やす努力も必要なのではないでしょうか。教育保育職員課が一生懸命求人活動していることは理解していますが、抜本的に待遇改善を考えないと賃金は安い・働く環境がよくなければせっかく来てくれた職員も逃げていくばかりです。「質の高い教育保育」をうたいながら職員がいない状態では、安全保育すら難しいです。現在のこども園の職員配置がどうなっているか、ご存じでしょうか。加茂こども園では、開園以来、朝夕土パートがずっと足りないまま、一人や二人ではありません。朝夕土パートの年休・夏季休暇の代替えを常勤・管理職がずっと穴埋めしています。常勤職員も産休代替えなどが入っていない、療養休暇代替えはもちろんなし。
102	21～30人が集団として適当だと述べている理由はなにか？小学校1年生も25対1に見直されてきている。「おおむね3対1」などと支援児の加配が勝手に減らされて支援の必要な子に支援が届いていない現状がある。コロナで少子化に拍車がかかるといわれてる今こそ対人数をも直すべき。
103	1948年から73年間変わっていない対人数を見直すべき。先進国を見習って欲しい。
104	職員の人数が圧倒的に不足していて本来、加配されるべき子たちだけではなく全児に対して保育が行き届いてるとは言い難いと思うが、そこへの配慮はどのように考えているのか教えて欲しい。
105	人員を確保してほしい。
106	遠くなると通園が厳しくなる。バス等を出す予定はあるか？
107	バスの運行がないということであれば、本来であれば歩いて通えていたのに、時間や経済的な負担、損失がある。幼稚園のことだけで考えるのではなく、高齢者など一般の人が使えるコミュニティバスのような巡回バスを検討してほしい。（清和台幼稚園の廃園に関して）
108	川西市の保育所・幼稚園はずっと年次的な建て替え計画もなくやってきました。保育所・こども園の長期的な修繕・建て替え計画を作成するべきと思います。特に保育所は遊戯室もなく所庭も狭いため十分な運動量の確保に苦心しています。早急な改善が必要と思います。市民にとっても、新しい、そして魅力ある環境の整った、小学校との連携などもうたってきている3歳児保育のあるこども園に希望が殺到するのは当たり前ではないでしょうか。（特に2,3号）
109	小戸保育所・中央保育所の耐震はどうなるのか？
110	廃園になる幼稚園の跡地を子どもの為の施設にしてほしい。
111	もし廃園になるとしたらという前提でお尋ねさせていただきます。NPOとしては、常々制度の狭間でこぼれおちるニーズはないかという視点をもって活動しており、このたび国から示された「重層的支援体制整備事業」の目指す地域共生社会について、川西市での実現に期待したい思いを持っています。清和台幼稚園をその「重層的支援体制事業」の地域づくりのモデル拠点（制度のはざまのニーズを洗い出すアンテナ拠点）として、試験的にでも活用するというところに検討の余地はないもののでしょうか。地域の皆さまが親しみをもち、廃園を惜しまれる幼稚園だからこそ、施設を活かし実効性の高いアンテナ拠点づくりを実現できるのではないかという気がしております。
112	廃園後の施設のあり方について地元住民の意向を考慮して検討するとあるが、先に教育委員会の意向（不登校生の居場所にする等）を示してはどうか。
113	閉園後の市立幼稚園などの施設を使って：持続可能な社会の作り手の育成を目指して、市内の乳幼児教育保育推進体制を構築していくために質を支える工夫が必要とされています。舞鶴市や伊丹市のように保育の実践や学びや育ちの連続等について大切にしたいことを公民就学前施設や学校、行政ともに共通理解し、推進していく必要を感じます。そのためにも閉園した施設を使い、役立ててはとを考えます。

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
114	コミュニティ主催の行事に園児が参加したり、高齢者が来園して園児と交流をもったり（福祉委員会との行事）、就園前親子の集う場となったり（子育ての支援）するなど、地域とのつながりが深いと感じています。その実績やつながりをいかして、就園前の親子、園児、高齢者などが集う、教育および福祉的な役割を果たす施設として、残していけないかという考えもあります。
115	廃園後の施設について、子どもの居場所としての活用なども含め、。利用方法をまた今後考えていって欲しいなと思います。
116	川西市が子育てをどのように考えていくのかがベースかと思う。削られていく一方ではなく、川西市としてどうやって子育てを盛り上げてもらえるのか、素案も含めてアピールをしていただければいいと思う。
117	清和台幼稚園については、廃園は致し方ないのかなという思いがありますが、このまま市内の幼稚園が廃園の流れになるという方向は悲しいと思いました。現場のニーズに合わせた幼児保育の形というのをもっと早くしていたらとか、川西市としてどんな教育を目指していくのかということところを真剣に考えてほしいです。少子化だからこそ子育て世代に川西市を選んでもらうためにはどうしていったらいいのかということところまで前向きなビジョンを打ち出して、子育て世代の流入という視点を持って施策を打ち出していただければありがたいなと思いました。
118	川西は「子育てにやさしいまち」ということを市全体としてアピールしていく必要がある。
119	「仕方ない」というストーリーしか感じない。なぜ子どもが減ったか、市はどんな対策を取ったか。
120	この素案は将来子どもが減少することを見通しての案だと思いますが、川西市としては人口減を歯止めする、子育て世帯を川西市に呼び込むような、川西市の子育てを魅力とを感じるような案にしてほしいと切に思います。そのうえで、就学前施設の再編となるなら、それもよいかと思いますが...
121	転入してきた人たちが、あそび場や人とのつながりの場を求めている場合、拠点があると安心できると思う。そのためにも、地域の就学前施設がそれを担っていけるようになれば良い。
122	地域預かりのニーズが増えてきている。各地域にあれば、保護者も利用しやすいのではないと思う。（人数は1歳児の場合3名だと、他児とのかかわりあいができ、丁寧に対応できる。）
123	子どもが将来減っていくことを想定するのは仕方ないが、少しでも人口を増やし子育て世代に川西市に住んでもらう視点で考えないといけないのではないか。
124	川西市としての子育て支援、保育、子どもをどう育てていくのかを実践できる場
125	アップルみなみを利用される子育て中の親子が安心してすごせる開かれた居場所づくり。
126	子どもの保育や保護者の子育て支援等、多様化していく中で専門性を高めて対応していくとともに、福祉の機能も果たしながら多様な子どもを受け入れる施設となる。
127	子育て支援事業の充実（預かり保育）をはかる。
128	幼稚園などの施設で空いている教室を有効利用し子育て支援につなげていく。
129	地域の意見なくして一方的に進めると絶対摩擦が起きます。

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
130	本園は空き教室があるので、コロナ禍の前はそこに地域の親子が集まり、井戸端会議をしながら子どもを遊ばせることができる場を提供し、そこに地域の主任児童委員や民生・児童委員、地域の福祉部会の委員などが顔を見せ、語り合う場が提供できればいいねと話していたものである。コロナ禍で現在実施できていないが、以前は参観・懇談中の子守りボランティアを地域に協力いただき、弟妹が0歳児の頃から地域に知っていただき、声を掛けていただくことで、つながりをつくっていたものである。子どもが大きくなり、虐待などの事案があった時には、このようなつながりが助けとなり、地域と連携協力することにも役立つので、地域の子どもは地域で育てる仲間意識がもてるよう、きっかけをつくる必要があると思われる。
131	地域で育つことをねらいに、近隣小中学校との結びつきを深め、子どもの育ちを共有していくための体制づくりをする。
132	基本的に、どんな子どもにも地域で育つ権利がある。保護者の地域で育てたい思いをどうするのかを考えないといけない。
133	地域に根差した就学前施設。地域のみなさんに就学前施設の存在を肯定的に受け止めてもらえる日頃からのつながり。
134	地域や保護者とつながりを深め地域に根差し、連携・協働の中で子どもを守りそだてていく。
135	地域のお年寄りやコミュニティとの交流でお互いに元気のやりといができ地域の安全や活性化の役割を担う。
136	地域の多様なニーズを捉え、子どもから大人まで様々な世代が自然と集まる憩いの場にする。（プレイルーム、子育てサロン、カフェ、子ども食堂、放課後児童育成クラブ、図書館、園庭や花壇・畑の活用、シニア世代が活躍して楽しめる場、一時預かり保育など）
4. 「市立就学前教育保育施設のあり方について」策定に関するご意見等について	
137	計画は7年度から・・・そのころ児童は0になっている可能性もあるが、それでも認定こども園を整備するのか？
138	過去のこども園化（一体化）の時と同じ進め方となっている点を懸念する。（園所の希望について、対応不可能と回答が予想される。）また、質の高い教育保育とは何か、園所職員自身、頭を悩ませている。一方では、きょうだいと異なる園所に預けている保護者もいる。
139	具体的な方針はいつ示すのか。素案に対する、職員意見反映の余地はあるのか。（令和5年以降の保育運営の見通しはどうか。冊子での共有はもちろんのこと、実際に各園所に出向き、現場の意見をしっかりと聞いたうえで、反映してほしい。）
140	今現在、描いてる計画案、施設の事、運営の事、すべて教えて欲しい。
141	急なこども園の話に職員は驚いています。勝手にいろいろなことが決められ、進んでいくのではないかと不安です。
142	計画の相談や打診がなく、市役所の思いだけで進んでいるように感じる。初期の段階で相談するべきなのでは。
143	市役所の思いと現場の思いと、同じ方向を向いて進めていきたい。その為に話し合いが必要。現場で働く職員の声にもっと耳を傾けてほしい。
144	時間と予算に余裕をもってほしい。
145	余裕のない中で急いで工事すると欠陥が増えるのが不安。新設後すぐ雨漏りしたと聞いている...
146	説明や工事よりもまずは、現場と意見をすり合わせる機会を必ず設けてもらいたい。その時間が一番大切だと思う。
147	北こども園の振り返りはいつする予定なのか？教えてほしい。川西北こども園は少ない予算の中で、泣く泣く削ったものばかり。
148	今まで建てた新施設の振り返りの資料がほしい。今後の施設運営に必ず大切な資料。
149	廃園のことは聞いていなかった。なぜこのような結果に至ったのかのプロセスがわからないまま決定の段階で説明してほしいはなかった。市ホームページでも市長メッセージと今回の資料が掲載されており、これまでの反省が生かされていないのではないかと。

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
150	この計画が、川西市で子育てしたいと思う市民や、これから川西で育っていく子どもたちの、そしてやりがいを感じて働ける職員にとっての希望となる案となることを願っています。
151	幼稚園の入園予定者数が少なくなったのでは、令和2年度募集時に、「募集状況によっては、廃園等もあり得る旨」アナウンスをしたこと。やむなく、私立幼稚園などを選択した保護者がいる。一方、私立施設は「3年保育」しか認めないケースが多い。きちんと保護者に寄り添ってほしい。
152	保護者に対して、要望がなかったら説明会は開催しないのか？保護者への説明は全て現場に丸投げですか？何も知らされていない中で保護者に聞かれても「わかりません」しか言えないのは保護者に対して失礼だと思う。要望がなくても保護者への説明会は開催してほしい。誠意をもって対応してほしい。
153	勝手に決められると「質の高い保育」を維持することは出来ません。必ず、職員、保護者にしっかり説明をしてほしいです。
154	パブリックコメントを設けてほしい。保護者や市民の声に耳を傾けようとしているか。
155	上の表で、急速に園児が減っている。入園希望園児が1人になったから廃園するというのではなく、早い段階で入園前の保護者に周知するべきである。市立幼稚園はいずれも廃園の可能性があることを、どの程度保護者が理解しているのか。どのような周知に努めているのか。（小学校へのつながりなどもあると思うので）
156	清和台、東谷幼稚園の廃園案について、方針が固まった段階で地域に説明することは、地域が混乱するのではないか。
157	清和台の方の原案は仕方がないのかなと思うのですが、プロセスはできる限りの丁寧な説明を行政の方でしていただけるのか、説明の仕方というものを考えていただければと思いました。
158	園がなくなるということは、非常に大きなことだと思いますので丁寧な説明をお願いしたい。
159	丁寧に市民の一人でも多くの方の納得を得る。多くのかたが賛同していただけるものを探していく必要があると思います。
5．具体的な事業に関するご意見等について	
160	南保育所で0歳から受け入れできないことから、私立保育所に流れてしまうのではないか。
161	久代幼稚園について、地域の子どもたちが私立の園に行っているのであれば、あり方の考え方そのものを変える必要があるのではないか？
162	無償化の影響もあり、令和3年度には久代幼稚園で急激に入園児童数が減っている。市からも説明があったように、長時間の保育にニーズがシフトしており、私立に行かれている方も増えているのだらうと考えられる。
163	久代幼稚園・南保育所との一体化について（特に、久代地域で）子どもの安全・安心のため、土砂災害などの災害リスクをどう考えるか。
164	久代幼稚園・南保育所の一体化について、令和5～6年度に事業に着手とあるが、こども園スタートを「令和6年4月1日」と考えているのか。（スケジュールがタイトであり、調整がうまくいくのか。少しでも具体的な部分を早めに示し、園所と一緒に進めてほしい。）
165	令和5,6年度の事業に着手という案が出ているが、短期間でこども園への移行が可能なのか具体的な案を早めに知りたい。
166	川西南保育所・久代幼稚園共に土砂崩れ警戒区域に指定されてるが、そのまま移転等は検討せずそのままが良いのか？（園所の老朽化もあり）
167	川西南保育所・久代幼稚園共に全施設を利用してのこども園化になることで定員数がふえることにより駐車場などはどうするのか？（現段階でも時間によっては混雑が生じてる）
168	何名規模の施設を考えているのか？

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
169	前の道路はかなり車の往来が多い、スピードも出ているのですごく危険 駐車場をどのように確保するのか？
170	異年齢の自然な関わりを大切にしているので、未満児棟、以上児棟に分ける施設は反対
171	最近の久代エリアは、子育て世帯が多く、保育所のニーズはかなりあると思うが、幼児がどれほどのニーズがあるのか知りたい（1号のことです）リサーチの結果を教えて欲しい。
172	給食室の工事を今年度実施したということは、すぐにつぶすことはない少ない？現在の保育所の給食室で調理するとして、どのように保育室まで提供していくのか？（幼稚園側にどうやって給食届ける？考えを教えて欲しい）
173	課がいろいろ分かれてるので、どこの課の誰に相談したらいいのかわからない。久代・南のことについての担当者は誰ですか？継続して情報共有していく時、それまでの内容を知っている人でないともた、いちから説明するのは時間を有効に使えない。保育所は時間を割かないとつukれない状況を分かって欲しい。
174	保育所・幼稚園をどちらも使って、乳児・幼児に分けることはやめて欲しい。
175	大雨が続くと土砂が心配、このままの状態でもも園になることは心配
176	元々は老朽化が理由でもも園になるという話だったはず、なのに今回建物を新しく建てないのどういう理由？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
177	2日間の説明会の質疑応答の中で「南はそもそも2つの施設がとなりあって早々に1つになると思われていたと思う」と言っていたが誰一人望んでいない。こども園にする明確な理由は何か？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
178	「耐震は問題ない」と言っていたが老朽化は極めて深刻であり、崖が崩れる危険地域を利用する理由は何か？子どもの安全をどう考えているのか？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
179	1歳児の保育室中央に地盤のゆがみでフローリングの築山が出来ており子どもが転倒する事故が多発する（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
180	施設全体で開かない窓がいくつもありコロナの中換気が十分にできない（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
181	南保育所は昭和45年建設で50年余り経っている建物である。久代幼稚園も昭和44年の建設。新しい安全な施設を建てるべき。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
182	既存の施設を使っの一体化は、無理があるところがある。じっくり検討しないまま、短い期間でスタートさせないといけない理由は何かをきちんと地域に説明できるのだろうかと思う。単に施設を合わせるだけではクリアできない部分がある。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
183	保育所の給食の設備を拡充しないと補えないのではないが、また施設に渡り廊下がないのにどうやって運ぶのか。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
184	どちらの施設も耐震基準はクリアしていたとしても、古い施設で、現代の教育施設としては問題が多いと感じる。保育所では床の浮き上がり、指詰め防止をしないとといけない扉が多くある、バリアフリー化が十分でないので、車いす、ベビーカーなどが一人で入れない。収納スペースが少ない。押し入れ、天袋など入れにくく、脚立で出し入れなど危険を要することもある。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
185	土砂災害避難ありの場所にあり、その対策を施し、安全と言える保障はあるのか。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
186	駐車場が確保できるのか。4台で運用している今でも、お迎え時は待ちが発生することがあり、近隣からの苦情もある。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
187	設備の1部を工事するにしても、子どもが通っている中でやることは無理がある。結局一時仮施設などが必要になるのではないか。その場所をどうするか。新設することはなぜできないのか。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
188	現場の職員が多数参加できる検討会を保障して欲しい。現場に勤めないと気付かないことが数多くあると予想される。現場の意見は貴重であるとの認識をしてほしい。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
189	施設の耐震性はあると聞いたが老朽化の方はどう考えているのか教えて欲しい。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
190	幼稚園と保育所の施設をこのままでこども園にするということで施設間の往来やクラスの配置など、細かい所までしっかり把握されているのであれば具体的に示してほしい。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
191	地域子育て支援ルーム「アップルみなみ」はどうなりますか？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
192	このままアップルみなみがあるならば、プレイルームの場所はこのままですか？こども園になり、在園児数が増えると弟妹の利用も増え、今のプレイルームの広さでは狭くなると思います。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
193	保育所も幼稚園も古い建物でこのまま今後こども園として使っていくのは大丈夫なんでしょうか？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
194	どのように分けて使っていくのか？給食はどう運ぶのか？雨の日は？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
195	事業計画を現場におろすのが遅いのではないかなと感じました。保育の計画もある中で次年度から着手するというのは急すぎると思います。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
196	既存施設の活用は難しいのではないかと？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
197	現場に足を運び、幼稚園、保育所職員の声を聞いて進めて頂きたいです。机上だけでは分からないことはたくさんあると思いますのでよろしくお願いします。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
198	未来の川西の子どもたちの為に一緒に進んで行けたらと願います。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
199	老朽化が進んでいる施設を有効活用して安全な保育が出来るのか不安である。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
200	保育室、給食室など具体的な施設の在り方、使い方を早急に知りたい。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
201	既存の施設で保護者の送迎は不便ではないのか？行き来しにくいと感じる。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
202	0歳児保育を行っていない施設で0歳児の受け入れが出来るのか？設備について知りたい。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
203	久代幼稚園（定員90名）と川西南保育所（80名）の一体化で定員が170名の子ども園になるのか？もし、そうなる場合、保育士不足の現在、保育士の確保は大丈夫なのか？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
204	現場の職員の意見を取り入れてもらえるように、打ち合わせなど相談しながら作って欲しい。また、幼稚園と保育所での日課での違いなど（午後からの過ごし方など）事前に決められる部分は話し合いなどで決めていけるようにする。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
205	こども園の園舎について 新設の園舎を作って欲しい（1つの園舎にまとめる）保育所、幼稚園の建物をそれぞれ使うと1～5歳児までの子ども達の異年齢のつながりが少なくなってしまうと感じる。異年齢児が自然と関わるといふ最大のメリットがなくなってしまう。また、既存の建物の老朽化も進んでる。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
206	職員の働き方について 幼稚園の先生達にもローテーション、時差勤務や土曜日などにも入ってもらい、職員が平等に働く事ができるようにしてほしい。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
207	こども園になれば給食室の今の広さでは100人以上の給食を作るのは無理だと思います。0歳～1歳の離乳食を作るにはガスコンロも足りません。今でも離乳完了食を作るのにカセットコンロを出して作っているのが現状です。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
208	アップルの部屋はどうなりますか？今のままの狭い部屋なのか？人数が増えると利用者も増えると思います。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
209	土砂崩れの危険区域ではありますが、現状のままで大丈夫ですか？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
210	壁にひび割れ、ドアの立て付けなど不具合がたくさんある中、このままで不安があります。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
211	安全面、防犯面ともに新しく計画して欲しいです。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
212	保育所のことはわかるけど、子ども園になったら時間がどのようにかわるのかも何もかもわからないので不安です。そういうのってどうやって教えてもらえるんですか？
213	小学校と隣接しておらず、駐車場も借りている上に車上荒らしに何度もあう程治安が悪くなく、土砂災害警戒区域。就学前施設として本当にふさわしい場所か？県営住宅の家庭も入れる立地で、新たな場所をしっかりと考えるべき。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
214	既存の施設では難しいのでは。国から補助金が出ても、新設の施設を作れないのか？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
215	土砂災害警戒区域だが、対策は？水害対策としていつ起こるか分からない地震については耐震工事をするのに、同じくいつ起こるか分からない水害、土砂災害については対策しないのはどうしてか。確率で言えば毎年必ず大雨は降るのだから、そっちの方が起こる不安が高いのでは？どうせやると決まっているなら少しでも現場の不安、不満を取り除く努力と気概を見せてほしい。（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
216	何十年建物を使うつもりか？子どもや職員の安全を守れるのか？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
217	給食室の規模的に改築が必要だが、3月末日まで給食を作りながら改築する方法は？仮設か久代小を間借り？（南保育所と久代幼稚園の一体化に関して）
218	時代の変化は速く、川西市の対策は遅いくらいである。働く人が増え、子育て世帯の方がコミュニティに出席されなくなっている現状もある。幼稚園に空きがあるのであれば保育ニーズに対応する取り組みを早く進めるべきである。人口減少の推計もあるが、久代地域には空き地もあるため、子ども達は増えるのではないか。10年後の推計も正しいかどうか分からない。また、4歳児入園だったものが3歳児からできるのであれば、反対する人はいないのではないか。
219	久代幼稚園は隣に南保育所があるが、一緒にしたら3年間保育ができないのか。
220	加茂のこども園には久代地区の1号認定の方が何名かいらっしゃるとは思います。久代にこども園ができると加茂こども園の児童がさらに減るんじゃないか。
221	多田こども園に関して地元の市立幼稚園から地元の小学校へ行けるというメリットが存在する。こども園の場所については十分検討してほしい。
222	多田幼稚園は、園児が少なくなっているようだが、引き続き募集は続けるのか。
223	子どもを預けて駅まで車となると場所が大事になる。多田幼稚園だと、位置的によくない。

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
224	住んでいる地域によって差の出ない、バランスの良い配置はもちろん必要と思われます。特に多田保育所・多田幼稚園（たとえ出来るまでに廃園になっても）を多田こども園にすることは必要と思います。質の高い教育・保育と、連呼されていますが、その中には人的なもの・物的なもの（環境）も含まれると思います。幼稚園と保育所の職員が共に力を合わせ川西の教育・保育の質を上げることはもちろん大切と思いますが職員の努力だけでなく、環境を整えるのは行政の仕事だと思います。
225	多田幼稚園は5人未満となっても幼稚園として継続していくのか？
226	多田のこども園化について土地の目途はたっているのか。いつまでに目途をたてるのか。
227	P7 多田幼稚園は令和7年度から一体化を検討とあるが、令和4年度入園児が5名であり、検討を開始するのが遅くないか。前倒しになるのではないか。
228	東谷幼稚園も同じやり方ではないか？4歳から私立幼稚園に途中入園できない状況がある中、市としてはどのように調整するのか。また、私立幼稚園が発達上の支援が必要な幼児を受け入れないため、公立園に入園しているケースもある。
229	P7 東谷幼稚園 「5人」の根拠は。
230	東谷幼稚園の件なんですけど幼稚園も減少の一途をたどってるんですけどもここで5人未満となった場合は廃園を検討する。じゃあ5人以上となった場合は幼稚園の運営を継続しますとなっているんですけども、これが3ページの囲ってるところの集団教育についてというところの文言とかなり乖離してるんですけどもこの辺はどうなんだろうかとここでこの5人の、5人いれば継続、5人未満であれば廃園、5人というのはどこから来るんでしょうか。
231	清和台幼稚園は、複式学級にしたら、教室が空く。保育所を誘致すれば？
232	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
233	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
234	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
235	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
236	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
237	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
238	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
239	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
240	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
241	清和台幼稚園のR4担任1人、副担任1人は決定か？
242	複式学級になることを入園当時に聞いていなかったにも関わらず、副担任に正職をつけるという望みは聞いてもらえないのか？（清和台幼稚園のR4保育に関して）
243	前回の要望書にも記載していたが、副担任が時間制約のあるパートの先生であると、子どもが安全・安心に保育できるのか疑問である。（清和台幼稚園のR4保育に関して）

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
244	残り1年の保育を崩してほしくなく、今の先生を継続して配置してもらうことを望んでいる。複式学級の知識のある先生を配置しようとしているのか？（清和台幼稚園のR4保育に関して）
245	清和台幼稚園での保育を1日見たことがあるか。教育委員会が適正な配置と考えていても現場や保護者の感じ方は違う。複式学級とするのならこれまでどおりの体制を変えないでほしい。5人以上となり単式学級にもどした時も想定して、今のメンバーがいいのではないか。（清和台幼稚園のR4保育に関して）
246	養護教諭が配置されていないが状況は？募集チラシが投函されていたが、幼稚園の養護教諭を募集していないのはなぜか？（清和台幼稚園のR4保育に関して）
247	養護教諭がいない中、副担任がパートとなればどのように運営していくのか？養護教諭の募集状況など、春休みの時期に状況を報告してほしい。（清和台幼稚園のR4保育に関して）
248	来年度入園される方は5歳児になればどこに転園することになるのか？（清和台幼稚園のR4保育に関して）
249	園に通うにあたり家から遠い人への支援について、無料バス等の支援策はあるのか（清和台幼稚園のR4保育に関して）
250	清和台幼稚園の跡地にこども園を建設しないのか？
251	市の中央部は施設が充実しており不公平感がある。清和台地区にも子育て世帯が流入する施策を考えてほしい。
252	令和2年度のホームページでの募集案内を見てやむなく他園に行かれた方がいることや今後保護者を混乱させるやり方はやめてほしいという実情を理解してもらいたい（清和台幼稚園のR4保育に関して）
253	清和台幼稚園について、4歳児が1名、5歳児が8名の複式学級になるかもしれないが、これで教育効果が上がるのか疑問である。児童人口の減少を踏まえた施策が必要。
254	子どもの教育環境を考えた時に本当に1名と8名の9名の幼稚園で行って良かった、卒園できて良かった、通えて良かったというような環境が本当に維持できるのかなと考えられます。経済的なものもあるのでしょうかけど新たに何か市の方でやっていくというのでないのであれば、人数も減っておりますので今後統合又は閉園もありかなという風に私は思いました。
255	来年度入園する清和台幼稚園の園児について、転園等することになるが市としてどんな配慮をするのか。
256	P8 3.基本方針で令和4年度末をもって廃園と言い切っているが、入園を希望する児童がいないことを把握しているのか。1.趣旨に応募児童が1人であったことを受けと記載されているが、このような状況に陥ることがだいぶ前から分かっていたのか。
257	P8 清和台幼稚園について、令和4年度に入園する園児1名については、令和5年度に転園することを理解しているのか。
258	人事異動のことは考慮してもらえるのか？今の先生は複式学級のことをしっかりと考えてくれており、新年度にメンバーを変えることがベストとは思わない。（清和台幼稚園の廃園に関して）
259	副担任が時間制限のある担任では困る。（清和台幼稚園の廃園に関して）
260	養護教諭は欠員ということであるが、そのために他の職員に負担が生じている。養護教諭は今年度欠員で、来年度もわからないということであるが、どのように取り組んできたのか。養護教諭の確保が全国的に厳しいということであるが、豊中市では、看護師や保健師でも可として配置している。知り合いが川西市に問い合わせたときに養護教諭免許がないとの理由で断られたと聞いている。柔軟に対応してはどうか。養護教諭がいないことにより問題が生じたときの責任は誰にあるのか。（清和台幼稚園の廃園に関して）

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
261	加配の先生は維持してもらえないのか。（清和台幼稚園の廃園に関して）
262	要望書を提出しても何も応えてくれていない。複式学級に担任を二人配置するのは当たり前のことである。（清和台幼稚園の廃園に関して）
263	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
264	令和4年4月には原案を取りまとめてその原案に基づいて清和台幼稚園については手続きを進めていきますという、とてもスピードが早い対応かなと思っています。
265	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
6. その他のご意見等について	
266	子育て支援事業をさらに充実させる
267	幼稚園のあり方が状況に応じて変化していくのはよいが、変化の状況が早く、施設を増やしたものの、子どもが減ったではだめ。
268	保育所に入りたいという人は多いのか。勤めている保護者としては、迎えの時間を考えると午後7時くらいまで開いてほしい。
269	3園所の職員が同じ方向性で川西市の就学前教育・保育を行い意欲を持って取り組めるように「質の高い教育保育」について共有する研修の場も必要です。また、現時点では研修時間を取るのも難しく教材研究や職員会議のため小学校みたいに勤務時間の改善を求めたいです。
270	資料など、保育所で印刷するのはかなり負担（その時間ないし紙代、インク代も多く必要になってくるので）その時間もない
271	こども若者未来会議を、誰でも傍聴できるようにした方がいい。（ZOOM等）
272	地域の未来を見据えて、何でも廃園にするのではなく、施設を残す選択もあるのでは。
273	出勤しにくい場所では、職員も集まりにくい。場所を検討してほしい。
274	建てるだけ建てて、民営化は、絶対にしないでほしい。
275	*個人が特定される恐れがありますので非公表とさせていただきます
276	P5 4. 市立就学前教育保育施設のあり方を考える視点の(1)の末尾「検討を進める必要があります。」とあるが、必要性は分かっているのだから、「検討を進めます。」ではないか。進めるということを謳うべきである。ほかの箇所も同様に見直したほうが良い。全体の方向性としては、時代の流れを見ると進めていくべきものだと思う。
277	これまで市が素案として示してきたものは、ほぼ原案となるという状況が続いている。さまざまな意見が出て反映されないという実態がある中で、実際に意見を受けることができるのか疑問に思っている。地域の身近にあった幼稚園が遠くになってしまい、子育て支援の利便性が低下し、範囲が広がるので手厚い支援が受けにくくなることを危惧している。幼稚園がなくなると地域の衰退に拍車がかかると考える。
278	集団規模が強調されているが、市内どこに住んでも通うことができるという適正配置の観点も必要と考える。
279	第二期子ども・子育て計画ではコロナが想定されていないが、計画においてコロナの影響を反映させたうえで待機児童の解消を目指すべきと考える。
280	保護者のニーズも多様化しているので、柔軟に対応していく。（例えば、幼稚園で小学校と隣接しているところは給食を実施する、新2号認定が多い園では、一時預かり保育のための人員を配置するなど、一律ではなく地域の特色やニーズに合わせたことができないだろうか）

「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」への意見等

番号	意見等
281	子育て世帯の周りの環境が大きく変化し、それに伴って、保護者の教育や保育のニーズも多様化している。特別な配慮を必要とする子どもへの適切な支援も含め、一人一人の発達に応じた育ちをどのように支えていくのか。子どもの育ちや学びは就学前教育保育施設だけではなく、家庭や地域での生活や遊びを通して培われる。更に就学前教育保育施設と小学校とは連携を強化し、これからのあり方についても可能な限り、保護者の思いに寄り添い、時間をかけて適切な検討をする必要があると思う。
282	"遊びを通じた学び"を実践していくために、幼・保・こ、それぞれの施設の特徴を大切にしながらどのような保育を進めているのかの実践交流。
283	SDGsに通じる食育の取り組みや、クリンジャーなどとの交流などを通して、ごみなどの環境問題を子どもたちと一緒に考えていくこと
284	川西市の就学前教育の質を高める存在となるような人材育成や保育内容を展開できるような研修体制をつくる。
285	今後の構想の中には、福祉施設（例えば敬老施設等）との連携なども視野に入れるべきかもしれない
286	地域の中の子育て支援の場として、子育て世代のサポート。
287	小学校との連携をすることで、子どもも保護者も子育てしやすい環境を作る
288	川西市に住みたいとなるようなニーズに合わせた保育内容の充実をはかる。
289	トライやるを受け入れていて感じたことだが、フリースクール的な存在で不登校の子どもなどの居場所にもなりえるかと考えた。（職員体制や、部屋などの場所は必要となるが）
290	小・中と一緒に教育委員会にあり、異校種の連携が図られることで、少し学校が見えやすくなったので、地域も含めて、長い目で子どもの育ちをつなげる方向に努力したい。
291	長時間の教育保育が求められている。
292	親子で歩いていけるようなところ、自転車でいけるようなところ、そういうところにきちんと適正に施設が配置されているのか。
293	各園については一定、教育の質を行政の方で確保いただいて、特色は出すところは出すけれども、全体的に質の均一化というところをある程度はしていかなければならないのかなと思います。

*個人が特定される恐れのあるご意見は公表を差し控えさせていただいております。また、事務局において一部加筆、修正等している場合があります。

清和台幼稚園の園区について（案）

1．趣旨

清和台幼稚園については、「市立就学前教育保育施設のあり方について（素案）」において、令和4年度末を持って廃園とする旨を掲げているところであります。清和台幼稚園については、今後、原案を取りまとめることで、市の方針を決定することとしていますが、素案に対するご意見等の中で、園区に関するご質問をいただいていることから、廃園となった場合の園区の取り扱いについて、現時点での市の考え方をお示しし、子ども・若者未来会議のご意見を伺おうとするものです。

2．清和台幼稚園の園区の状況

現状の園区

石道、虫生、赤松、柳谷、芋生、若宮、清和台東1丁目～5丁目、清和台西1丁目～5丁目、けやき坂1丁目～5丁目、多田院西2丁目5番、多田院字滝ヶ原・駒塚・井戸ヶ上

令和4年4月在籍見込み児童の状況

清和台 8人

けやき坂 2人

3．清和台地区の特性

公共交通機関の状況

区域内に鉄道は走っておらず、主な公共交通機関は阪急バスです。

清和台地区からの阪急バスは、川西能勢口駅方面、平野駅方面、日生中央駅方面が主な行先で、この内、川西能勢口駅方面が本数について最も多く、主要な路線となっています。

けやき坂地区からのバス路線についても、川西能勢口駅方面、平野駅方面等がありますが、清和台地区と同様に川西能勢口駅方面が主要な路線となっています。

道路の状況

道路の状況については、清和台地区内に南北に幹線道路が走り、南は川西能勢口駅方面に、北は猪名川町を結んでいます。また、地区の北部には、新名神高速道路川西インターチェンジへのアクセス道路である県道川西インター線を経由して、畦野駅から大和地区方面につながっています。

4．近隣の市立就学前教育保育施設の状況

東谷幼稚園は清和台幼稚園から北東に約 2.5km

牧の台みどりこども園は清和台幼稚園から東に約 3km

多田幼稚園は清和台幼稚園から南東に約 2.3km

川西北こども園は清和台幼稚園から南東に約 5km

(いずれもおおむねの方向と直線距離)

5．清和台幼稚園の園区について

各市立幼稚園、認定こども園と清和台幼稚園区との距離やアクセスの状況などを考慮すると、清和台幼稚園の園区を引き継ぐ園を指定することが困難な状況です。このため、清和台幼稚園が廃園となった場合の園区設定については、同園の園区を引き継ぐ園を具体的に指定せず、入園を希望する市立幼稚園、こども園の園区の児童とみなすこととしたいと考えています。

6．市全体の市立幼稚園、認定こども園の園区について

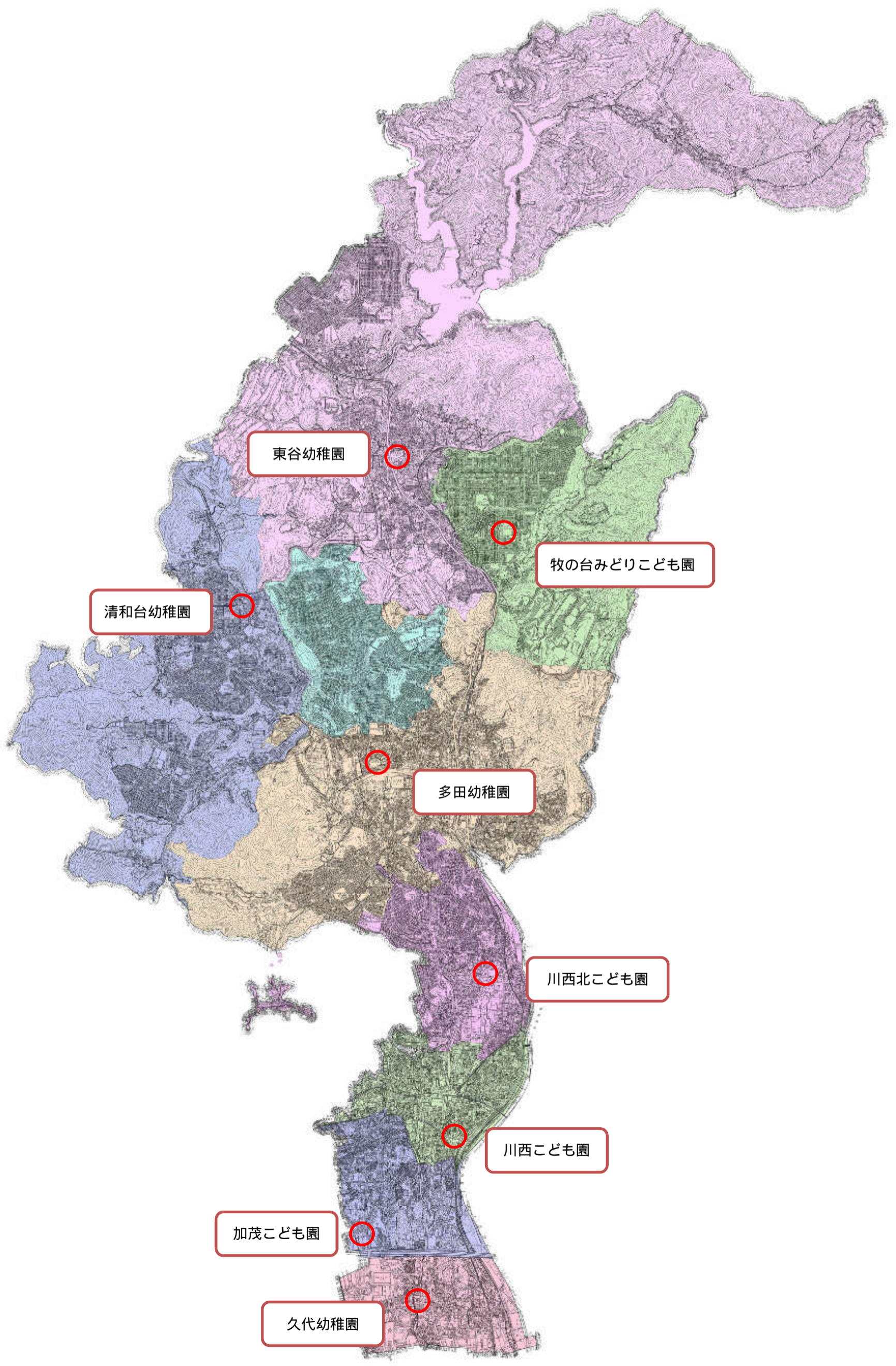
現在のところ、1号認定児童の入園にあたり、選考(抽選)を実施する可能性が高い市立幼稚園、こども園は、牧の台みどりこども園のみとなっています。他の市立園は1号認定児童の受け入れに余裕がある状況です。

また、幼稚園とこども園がそれぞれ分担して市内の全地区を園区指定しているため、例えば、東谷幼稚園区に居住している児童が、牧の台みどりこども園への通園を希望するケースでは、選考(抽選)の実施が必要となった場合には、園区外の扱いとなり、不利な条件となることが想定されます。

このように、園区が一園を除き実質的に機能していないことや、幼稚園とこども園の園区指定の課題などを踏まえ、将来的に園区を撤廃することも一つの方策であると考えています。

この度の「清和台幼稚園が廃園となる場合、後継園区を指定せず、希望園する園の園区の児童とみなす取り扱い」は、園区の廃止に関して試行的な側面を有するものと考えています。

川西市立幼稚園・こども園 配置図（市全域）



民間留守家庭児童育成クラブ運営支援事業補助金交付に係る事業者の選定について

1. 募集要項の概要

施設	民設民営の留守家庭児童育成クラブ
開設場所	原則、川西北小学校区内
定員	10人～40人の範囲内で設定
募集数	1か所
開所時期	令和4年4月1日

2. 募集期間

令和3年10月	募集要項等の配付開始
令和3年12月17日	募集要項等に関する質問受付締切
令和4年1月14日	提出書類受付締切

3. 選定の経過及び結果について

(1) 選考体制

川西市民間留守家庭児童育成クラブ運営支援事業補助金交付事業者に係る公募型プロポーザル審査委員会(以下、「委員会」という。)を設置し、専門的な視点で審査・選考を実施した。委員の構成は、学識経験者、税理士、小学校長、公設育成クラブ主任支援員、コミュニティ協議会会長の5人。

(2) 選考経過

日程	会議	内容
令和3年12月7日	子ども・若者未来会議	・民間留守家庭児童育成クラブ運営支援事業補助金交付事業者募集プロポーザルの実施について
令和4年1月24日	委員会	・会議公開、審査(採点)基準について ・プレゼンテーション、ヒアリング(財務状況や提案内容等) ・意見交換、採点、選考

4. 応募事業者及び委員会による選考結果

2法人から応募があり、審査の結果、「特定非営利活動法人三楽」(埼玉県さいたま市中央区大戸6-11-18)が選定の対象として委員会から推薦され、1月31日に補助金交付に係る協議対象事業者として決定した。

【事業所の概要】

事業所名：キッズクラブ川西北

所在地：川西市火打1丁目23-25(川西北小学校から400m)

面積：延べ84.7㎡(専用区画面積75.93㎡)

定員：40人

校区：川西北小学校区

開所日：月～土曜日

閉所日：日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

開所時間：月～金曜日（学校休業日以外） 放課後～午後8時まで

月～金曜日（学校休業日） 午前7時30分～午後8時まで

午前7時30分～午前8時まで及び午後5時～午後8時までは延長育成時間

育成料：月額7,500円ほか

おやつ代：月額1,500円

5．事業者決定後の状況

令和4年2月15日 市へ放課後児童健全育成事業開始届提出

令和4年2月28日 事業者による保護者への入所説明会

入所申請受付期間 令和4年2月28日～3月4日（定員に空きがある場合は随時受付可）

令和4年3月1日 市へ民間留守家庭児童育成クラブ運営支援事業補助金（施設改修等）交付申請

令和4年3月下旬（予定） 改修工事竣工

川西市立

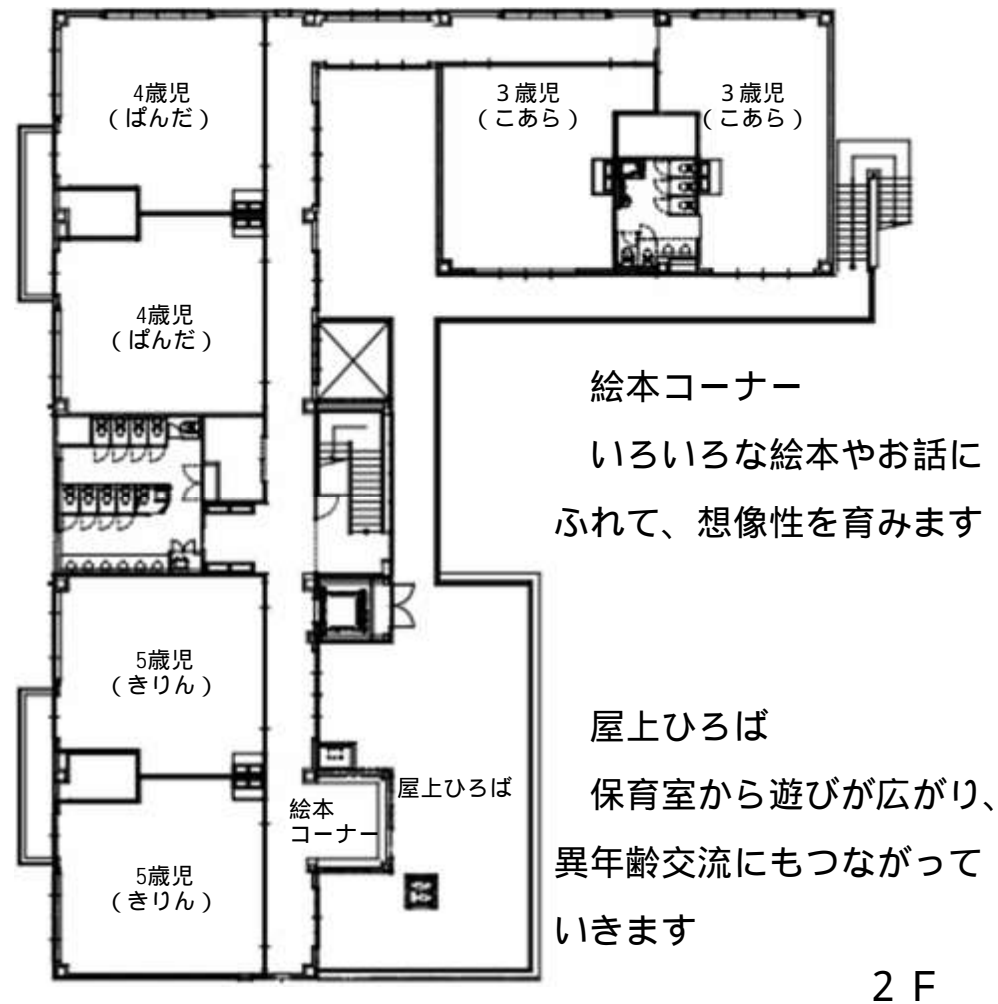
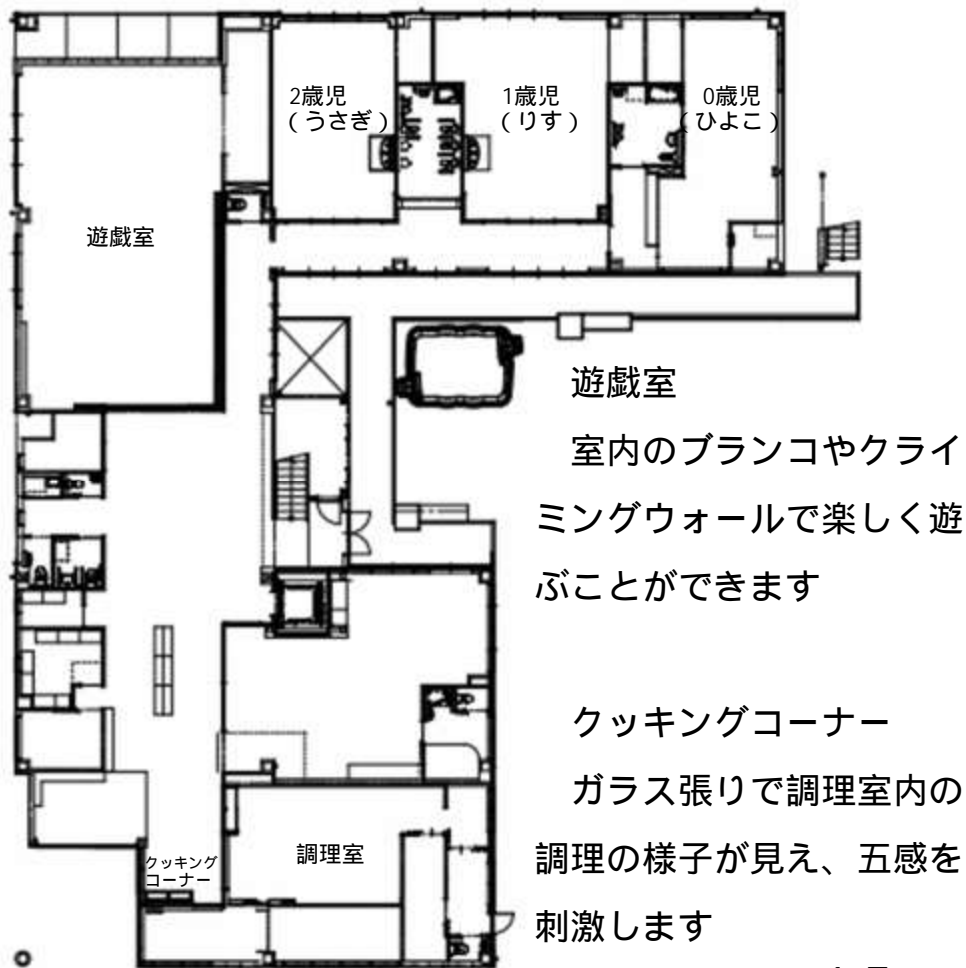
川西北こども園

時代が変わる。川西を変える。

さあ、かわにし **新**時代へ。



【平面図（概略版）】



【基本情報】

所在地 川西市丸の内町7番1号

構造 鉄筋造・2階建

延べ面積 1,441.82㎡

敷地面積 2,621.83㎡

用途 認定こども園（幼保連携型）

耐火種別 耐火建築物

年齢	クラス数	定員			
		計	1号	2号	3号
0歳	1	9	-	-	9
1歳	1	13	-	-	13
2歳	1	13	-	-	13
3歳	2	45	30	15	-
4歳	2	50	35	15	-
5歳	2	50	35	15	-
合計	9	180	100	45	35

【遊具（一部）】

すべり台



クライミングウォール

